



2021年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年12月3日

上場会社名 株式会社アルチザネットワークス 上場取引所 東
 コード番号 6778 URL https://www.artiza.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 床次 直之
 問合せ先責任者 (役職名) 管理統括本部経理財務部長 (氏名) 蕨沢 宏行 TEL 042-529-3494
 四半期報告書提出予定日 2020年12月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第1四半期の連結業績（2020年8月1日～2020年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第1四半期	511	54.9	0	—	△5	—	4	—
2020年7月期第1四半期	329	27.1	△179	—	△203	—	△146	—

(注) 包括利益 2021年7月期第1四半期 △0百万円 (—%) 2020年7月期第1四半期 △112百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年7月期第1四半期	0.56	0.56
2020年7月期第1四半期	△18.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年7月期第1四半期	6,057	4,025	66.4	485.74
2020年7月期	6,005	4,076	67.8	491.81

(参考) 自己資本 2021年7月期第1四半期 4,022百万円 2020年7月期 4,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2021年7月期	—	—	—	—	—
2021年7月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年7月期の連結業績予想（2020年8月1日～2021年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	11.4	482	10.0	463	16.0	377	△14.2	44.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年7月期1Q	9,562,000株	2020年7月期	9,562,000株
② 期末自己株式数	2021年7月期1Q	1,281,070株	2020年7月期	1,281,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年7月期1Q	8,280,930株	2020年7月期1Q	8,070,930株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済の状況は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞から企業業績は改善しつつありますが、改善のペースは緩やかなものとなっており、未だ収束時期の見通しが不透明な現状におきましては、予断を許さない状況が続いております。

移動体通信分野では、世界的に移動体通信の高速化・大容量化、サービス品質の向上に向けての研究開発及び設備投資が継続しております。国内においてはLTE-Advanced及びLTE-Advanced Proのサービスが普及し、既存のLTEのサービスに対して更なる高速化・大容量化が実現しております。さらに、2020年3月から一部のエリアで第5世代移動通信方式(5G)の商用サービスが開始され、今後はLTE-Advanced及びLTE-Advanced Proのサービスに加え、5Gサービスの更なる進化に向けた研究開発が積極的に行われていくものと思われまます。また、海外におきましても、先行的な5Gサービスも一部で始まり、更なる移動体通信の高速化が全世界で進行しております。

固定通信分野では、企業向け及び家庭向け光ファイバの普及によるブロードバンドサービスが定着し、NetflixやAmazonプライム・ビデオ等のビデオストリーミングを中心としたデータトラフィックの急速な増加に加え、テレワークの推進によるWeb会議システムの導入やクラウドサービスの高度化が急速に進んでおります。通信事業者は、急増する多種多様な通信トラフィックに柔軟に対応するため、ネットワークの負荷低減に向けた投資や、ネットワーク処理のソフトウェア化を急速に進めながら、通信インフラの更なる高速化・大容量化を推進しております。

これらの技術や新サービスの導入に伴い、開発投資や設備投資の需要が見込まれる一方で、通信事業者間の加入者獲得競争等によるサービスの低価格傾向は継続しており、通信業界全体の投資意欲に関しましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響及び国内外の政治経済の状況並びに業界内の動向を見極めつつ、引続き慎重かつ選別的な姿勢が継続されるものと予想されます。

このような状況の中、当社グループでは、以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- (i) 5Gに対応する製品の開発及び販売並びにテストサービスの受託
- (ii) LTE-Advanced及びLTE-Advanced Proに対応する製品の開発及び販売
- (iii) 欧州、中国、韓国、インド、中東等の海外市場における5G及びLTE-Advanced対応製品の販売及び市場開拓
- (iv) LTEに対応する製品の保守及び販売
- (v) 次世代ネットワーク及びネットワークセキュリティに対応した製品開発及び商材開拓並びに販売
- (vi) 通信分野における新事業に向けたマーケティング

その結果、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりとなりました。

(モバイルネットワークソリューション) 456,207千円(前年同期比313.6%増)

当セグメントの売上高は、456,207千円となりました。国内の移動体通信市場におきましては、大手通信事業者が一部エリアで5Gの商用サービスを開始し、5G向けの端末も発売される中、引続き研究開発投資が積極的に行われております。当第1四半期連結累計期間におきましても、通信事業者向けの5G対応製品の販売及び基地局メーカー向けのテストサービスの受託が堅調に推移した結果、前年同期に対し売上高が大幅に増加いたしました。

セグメント損益につきましては、37,525千円の営業利益(前年同期は営業損失219,320千円)となりました。5G向けの研究開発投資は前期に引続き一定水準で継続したものの、LTE-Advanced Pro等の既存分野に対する研究開発投資が減少したことによるものです。

(IPネットワークソリューション) 54,805千円(前年同期比75.0%減)

当セグメントの売上高は、54,805千円となりました。ネットワーク監視用パケットキャプチャツール「etherExtractor」の販売が、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による顧客の設備投資時期の変更により前年同期比で大幅に減少した結果によるものです。

セグメント損益につきましては、前年同期比で売上高が大幅に減少したことに加え、新製品向けの研究開発費が増加した結果、37,004千円の営業損失(前年同期は営業利益39,563千円)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高511,013千円(前年同期比54.9%増)、営業利益521千円(前年同期は営業損失179,757千円)、経常損失5,437千円(前年同期は経常損失203,338千円)となりました。当連結会計年度の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産計上に伴う法人税等調整額を10,880千円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,642千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失146,431千円)となりました。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う当社業績への影響につきましては、国内における顧客の設備投資計画の変更及び海外における事業活動の制限により影響を受けましたが、軽微でありました。今後もお客様・お取引先様・従業員の安全を第一に考え、社内外への新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めつつ、開示すべき重大な影響が見込まれる場合は、速やかに公表致します。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,635,844千円であり、前連結会計年度末に比べ46,055千円減少いたしました。売掛金の回収により現金及び預金が409,195千円増加、5G製品の今後の販売計画に基づき商品及び製品が96,618千円、原材料及び貯蔵品が108,429千円増加した一方で、回収により受取手形及び売掛金が755,206千円減少したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は1,421,502千円であり、前連結会計年度末に比べ97,626千円増加いたしました。テストサービスの事業拡大に向けて岩手県滝沢市にテレコムテストセンターの建設を開始したことにより、有形固定資産が90,398千円増加したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,627,305千円であり、前連結会計年度末に比べ17,582千円増加いたしました。流動負債のその他に含まれる未払金が29,135千円、未払消費税等が21,202千円減少した一方で、賞与引当金が64,325千円増加したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は404,057千円であり、前連結会計年度末に比べ84,303千円増加いたしました。滝沢テレコムテストセンター建設用途での長期借入金が85,004千円増加したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は4,025,984千円であり、前連結会計年度末に比べ50,315千円減少いたしました。配当金の支払いにより利益剰余金が45,042千円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は予定通り推移しており、2020年9月3日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,898,958	3,308,153
受取手形及び売掛金	1,123,828	368,621
商品及び製品	506,782	603,400
仕掛品	21,235	68,804
原材料及び貯蔵品	93,163	201,593
その他	37,933	85,270
流動資産合計	4,681,900	4,635,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	220,456	218,037
工具、器具及び備品(純額)	278,848	245,885
土地	32,557	32,557
建設仮勘定	—	125,780
有形固定資産合計	531,861	622,260
無形固定資産	100,938	102,415
投資その他の資産		
投資有価証券	373,145	367,560
その他	317,930	329,265
投資その他の資産合計	691,075	696,825
固定資産合計	1,323,875	1,421,502
資産合計	6,005,775	6,057,346
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	291,214	299,775
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	82,080	95,556
品質保証引当金	4,893	4,312
賞与引当金	35,468	99,793
その他	196,066	127,868
流動負債合計	1,609,722	1,627,305
固定負債		
長期借入金	294,160	379,164
資産除去債務	12,358	12,393
その他	13,235	12,499
固定負債合計	319,754	404,057
負債合計	1,929,476	2,031,362
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,359,350	1,359,350
資本剰余金	1,673,926	1,673,926
利益剰余金	1,520,714	1,475,671
自己株式	△434,403	△434,403
株主資本合計	4,119,586	4,074,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△51,142	△56,788
為替換算調整勘定	4,221	4,595
その他の包括利益累計額合計	△46,920	△52,193
新株予約権	3,633	3,633
純資産合計	4,076,299	4,025,984
負債純資産合計	6,005,775	6,057,346

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2020年10月31日)
売上高	329,905	511,013
売上原価	170,596	178,152
売上総利益	159,308	332,860
販売費及び一般管理費	339,066	332,339
営業利益又は営業損失(△)	△179,757	521
営業外収益		
受取利息及び配当金	558	516
その他	10	14
営業外収益合計	569	531
営業外費用		
支払利息	1,470	1,626
有価証券償還損	15,291	—
為替差損	7,353	1,159
支払手数料	—	3,700
その他	36	4
営業外費用合計	24,151	6,490
経常損失(△)	△203,338	△5,437
税金等調整前四半期純損失(△)	△203,338	△5,437
法人税、住民税及び事業税	1,000	800
法人税等調整額	△57,907	△10,880
法人税等合計	△56,907	△10,080
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△146,431	4,642
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△146,431	4,642

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年8月1日 至 2020年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△146,431	4,642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,854	△5,646
為替換算調整勘定	△1,859	373
その他の包括利益合計	33,995	△5,272
四半期包括利益	△112,436	△629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△112,436	△629
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年8月1日至2019年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)
	モバイル ネットワーク ソリューション	IP ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	110,299	219,606	329,905
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	110,299	219,606	329,905
セグメント利益又は損失(△)	△219,320	39,563	△179,757

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年8月1日至2020年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)
	モバイル ネットワーク ソリューション	IP ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	456,207	54,805	511,013
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	456,207	54,805	511,013
セグメント利益又は損失(△)	37,525	△37,004	521

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。